

4 かかりつけ医と専門医および関係機関の連携強化

〔県、医療機関、糖尿病対策推進会議等〕

かかりつけ医と専門医等、関係医療機関において、糖尿病連携手帳の活用等により患者情報を共有し、紹介・逆紹介等の連携を強化することにより、病状に応じた医療が適切に提供できる体制の構築を図ります。特に、かかりつけ医と専門的治療を実施している医療機関との連携や、相互に影響を及ぼしている糖尿病と歯周病の治療における医科歯科連携を促進します。

また、(公社)福井県栄養士会が設置した「栄養ケア・ステーション」を活用し、糖尿病患者への栄養相談や食事療法の指導等を推進します。

新興感染症発生・まん延時等においても、オンライン診療やICTの活用等による継続した治療や指導ができる体制づくりを促進します。

Ⅲ 数値目標

項目	現状	目標	
特定健康診査受診率	57.0% (R3)	70%	
特定保健指導受診率	26.1% (R3)	45%	
尿中アルブミン・蛋白定量検査 実施件数 (人口10万人対)	アルブミン	1,559件(R3) *全国平均2,277件	全国平均以上
	蛋白	3,039件(R3) *全国平均2,601件	
	合計	4,598件(R3) *全国平均4,878件	
70歳未満の糖尿病性腎症による 新規透析導入患者数 (70歳未満人口10万人対)	7.8人 (R5)	減少	
透析予防指導管理を実施する 医療機関数	11か所 (R5)	10か所以上	
糖尿病連携手帳等を活用して 連携している医療機関の割合	40.3% (R5)	50%以上	
糖尿病に関する専門知識を 有する医療従事者数	125人取得 (R5)	100名以上取得/年	

糖尿病の医療体制構築に係る指標

区分	指標 (●: 重点指標)	現状			数値目標	施策等
		福井県	全国平均	備考		
予防	● 特定健康診査実施率	57% (全国17位) *高い順	56.2%	医療保険者から国に報告された特定健康診査の実施結果 調査年: 令和3年	特定健康診査の受診率: 70%以上	「元氣な福井の健康づくり応援計画」等に沿って事業等を実施 イベント等の活用による糖尿病の意識啓発を実施 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムを活用した取組みの促進 ・地域・圏域・医療機関の連携による治療と仕事の両立支援の推進
	● 特定保健指導実施率	26.1% (全国23位) *高い順	24.7%	医療保険者から国に報告された特定保健指導の実施結果 調査年: 令和3年	特定保健指導の実施率: 45%以上	
予防 治療・重症化予防	糖尿病が強く疑われる者のうち治療中の者の割合	強く疑われる者の割合14.0% うち治療中の者の割合58.3%	※未公表	国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査 調査年: 令和4年		
	● 糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく受診勧奨により医療機関へ受診した糖尿病未治療患者の割合	52.4%	—	県独自調査(市町国保) 調査年: 令和3年		
治療・重症化予防	糖尿病内科(代謝内科)の医師数	3.7人/10万人対 28人 (福井・坂井25人、奥越0人、丹南1人、嶺南2人)	4.5人/10万人対	医師・歯科医師・薬剤師調査 調査年: 令和4年		
	糖尿病内科(代謝内科)を標榜する医療機関数	診療所: 1施設 0.1/10万人対 (福井・坂井1、奥越0、丹南0、嶺南0) 病院: 15施設 2.0/10万人対 (福井・坂井11、奥越0、丹南4、嶺南0)	診療所: 12.7施設 0.5施設/10万人対 病院: 33.9施設 1.3施設/10万人対	医療施設調査 調査年: 令和2年		
	糖尿病専門医が在籍する医療機関数	2.6施設/10万人対	3.0施設/10万人対	糖尿病専門医の認定状況 (日本糖尿病学会HP) 調査年: 令和4年	糖尿病に関する専門知識を有する医療従事者数: 毎年100人以上取得	・医療従事者を対象とした研修会等の実施による専門性の強化 ・糖尿病認定医や糖尿病療養指導士の資格取得や活動の促進
	糖尿病療養指導士が在籍する医療機関数	3.4施設/10万人対	4.1施設/10万人対	糖尿病療養指導士の認定状況 (日本糖尿病療養指導士認定機構HP) 調査年: 令和4年		
	1型糖尿病に対する専門的治療を行う医療機関数	19施設 2.5施設/10万人対	1.2施設/10万人対	NDBデータ 調査年: 令和3年		
	妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠に対する専門的治療を行う医療機関数	10施設 1.3施設/10万人対	1.0施設/10万人対	NDBデータ 調査年: 令和3年		
	糖尿病患者の年齢調整外来受療率	90.0	92.0	【患者調査】傷病大分類の都道府県別受療率(10万人対)を標準人口で補正した値 調査年: 令和2年		
HbA1cもしくはGA検査の実施割合	0.97 (全国4位) *高い順	—	NDBデータ 調査年: 令和3年			
インスリン治療の実施割合	0.12 (全国27位) *高い順	—	NDBデータ 調査年: 令和3年			
治療・重症化予防 合併症の発症予防・治療・重症化予防	糖尿病連携手帳を活用して連携している施設数	112施設	—	県医療機能調査 調査年: 令和5年	糖尿病連携手帳を活用して連携している施設数の割合: 50%以上	・医療従事者を対象とした研修会等の実施による専門性の強化
	糖尿病透析予防指導もしくは糖尿病合併症管理の実施割合	0.004 (全国46位) *高い順	—	NDBデータ 調査年: 令和3年	糖尿病透析予防指導管理を行う施設数: 10箇所以上	・「栄養ケア・ステーション」を活用した食事指導等の実施
	外来栄養食事指導の実施割合	0.04 (全国40位) *高い順	—	NDBデータ 調査年: 令和3年		
治療・重症化予防 アウトカム	重症低血糖の発生率(糖尿病患者1年あたり)	0.006 (全国19位) *低い順	—	NDBデータ 調査年: 令和3年		
	● 糖尿病の年齢調整死亡率	男性: 13.5(18位) 女性: 7.2(28位)	男性: 13.9 女性: 6.9	【人口動態調査】 調査年: 令和2年		
合併症の発症予防・治療・重症化予防	腎臓専門医が在籍する医療機関数	2.9施設/10万人対	2.3施設/10万人対	腎臓専門医県別人数 (日本腎臓病学会HP)		・かかりつけ医と専門的治療を実施している医療機関との連携の促進 ・糖尿病と歯周病の管理を適切に行うための医科歯科連携の促進 ・医療従事者を対象とした研修会等の実施による専門性の強化
	歯周病専門医が在籍する医療機関数	0.1施設/10万人対	0.8施設/10万人対	歯周病専門医の認定状況 (日本歯周病学会HP)		
	糖尿病網膜症に対する専門的治療を行う医療機関数	47施設/10万人対 (全国43位) *高い順	—	NDBデータ 調査年: 令和3年		
	糖尿病性腎症に対する専門的治療を行う医療機関数	7施設/10万人対 (全国46位) *高い順	—	NDBデータ 調査年: 令和3年		
	糖尿病足病変に対する専門的治療を行う医療機関数	13施設/10万人対 (全国42位) *高い順	—	NDBデータ 調査年: 令和3年		
	急性合併症の治療を行う医療機関数	23施設	—	県医療機能調査 調査年: 令和5年		
	眼底検査の実施割合	0.33 (全国47位) *高い順	—	NDBデータ 調査年: 令和3年		
	● 尿中アルブミン・蛋白定量検査の実施割合(人口10万人対 実施件数)	0.13 (4,598件)	— (4,878件)	NDBデータ 調査年: 令和3年	尿中アルブミン・蛋白定量検査の実施件数: 全国平均以上	
	クレアチニン検査の実施割合	0.91 (全国8位) *高い順	—	NDBデータ 調査年: 令和3年		
	治療が必要な糖尿病網膜症の発生率(糖尿病患者1年あたり)	0.015 (全国14位) *低い順	—	NDBデータ 調査年: 令和3年		
アウトカム	● 糖尿病性腎症による新規透析導入率【参考】新規透析導入患者における糖尿病性腎症患者の割合	11.4/10万人対 41.0%	12.2/10万人対 40.2%	R3調査 日本透析医学会	糖尿病性腎症による新規透析導入患者に占める70歳未満の患者の割合: 減少	
	糖尿病患者の新規下肢切断術の件数	33件 4.3件/10万人対	6.015件 4.8件/10万人対	NDBデータ 調査年: 令和3年		